

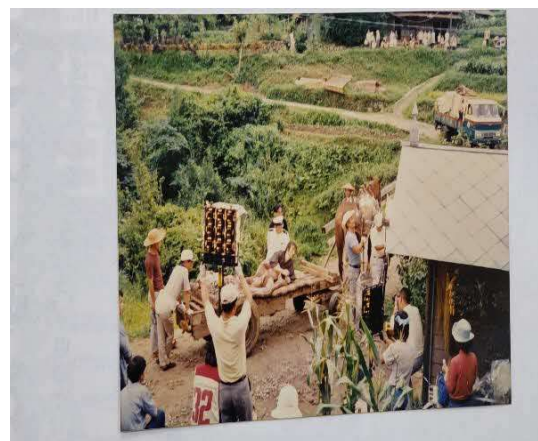
松本清張不朽の名作

映画 「砂の器」 ロケ地めぐりツアー

松本清張不朽の名作「砂の器」が上映されて半世紀以上が経過した今、奥出雲地域では今なお当時の建物や風景が多く残存しています。また、エキストラで参加された方やロケを見ていた方の貴重な写真やお話で、ロケがどのようなものであったかを感じることができるツアーです

<ツアーの特長>

- ① キャストやスタッフが宿泊した天野館へ宿泊。キャストの写真やサインを見ることができる他、緒形拳が宿泊した部屋の見学や野村芳太郎監督が宿泊した部屋から茶室をみることができます。
- ② 2日間ロケ地詳しいガイドが現地を案内。また、「砂の器」と木次線著者村田英治氏を囲んでのトークや懇談会を予定



実施日：令和7年11月11日（火）～12日（水）2日間

旅行代金：35,000 円/人 （子ども 5,000 円引き）

募集人員：8 人（最少催行人員 6 人）

宿泊施設：天野館（雲南市木次町木次）

食事条件：朝 1 回 昼 2 回 夕 1 回

添乗員：同行しませんがガイドが付きます

【日程】

1 日目（11/11）

宍道駅（11:17 発） 出雲三成駅＝仁多米食堂（昼食）
＝奥出雲ロケ地めぐり＝天野館（泊）

2 日目（11/12）

天野館＝雲南市下久野地区ロケ地めぐりと村田英治氏
を囲んでの懇談会/清流の館（昼食）＝下久野駅（14:01）

木次駅（乗り換え） 宍道駅（15:46 着）

*具体的なロケ地めぐりは最終案内でお知らせします。

■このツアーは雲南市観光協会と奥出雲観光協会の共同主催ツアーとして実施します。

（一社）雲南市観光協会

島根県知事登録旅行業 地域 105 号
国内旅行業務取扱管理者 鍵谷 直美

（一社）奥出雲観光協会

島根県知事登録旅行業 地域 96 号
総合旅行業務取扱管理者 遠藤 達也